



TEA FOR UNIVERSE, TEA FOR LIFE.

HYOUGEMONO 8

Smells Like 童 Spirit

愛しき反逆者

黒と緑のワタシ

日輪のクライバイビー

正・政・性

新・ギルティバートナー

死刑台的階梯

本命はお前だ

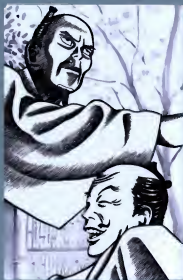
さ、最高！セクシー！

抱いて！HOLD ON ME!!

「世界」を割った男

# へうげもの

HYOUGEMONO SINCE 2005  
MORNING KC  
KODANSHA



TEA FOR UNIVERSE, TEA FOR LIFE.  
**Hyounge Mono**  
YOSHIHIRO YAMADA 8  
Orie Furuta Toyotomino Hideyoshi  
Senno Rikyu Ieyasu Tokugawa  
Masamune Date

MORNING KC 1774  
へうげもの  
Hyounge Mono 8  
山田芳裕  
YOSHIHIRO YAMADA  
講談社



9784063727746

雑誌 42668-74

ISBN978-4-06-372774-6

C8979 ¥533E (0)



1929979005337

モーニングKC 講談社

定価：本体533円(税別)

Orie Furuta ist ein Kriegerchef der Ära Sengoku, dessen Seele zwischen seiner Liebe zum Weg des Tees und seiner Sucht nach Materialien zerrissen ist. Mit seiner gradiose Weltanschauung, die sich unter dem Einfluss des genialen Generals Nobunaga verbreitete, und seiner Geistigkeit, die dank der Lehre des Meisters Senno Rikyu zur Zeremonie des Tees vertieft wurde, verfolgt er seinen ungebremsen Lauf auf dem Weg zum <<Hyounge Mono>>. Eine Meinungsverschiedenheit vom Sinn des Schönen zwingt Rikyu zur Attentatsplan an Hideyoshi. Ohne Masamune Date zu beachten, versucht Orie seine Überlegenheit durch den Imaiaki zu festigen. Zwischen Leben und Tod, dem Weg des Säbels und des Tees, wird die Entscheidung immer zwingender!!

茶の湯と物欲に魂を奪われた戦国武将・古田織部。天才・信長から壮大な世界性を、茶聖・千利休から深遠な精神性を学び、「へうげもの」への道をひた走る。「美」をめぐる確執が、利休を秀言贈殺へと駆り立てた。今度で覇を唱えんと、伊達政宗を再び織部。生か死か、武か政か、それがますます問題だ!!



中学生の頃、羽球部に入った私は

ラケット選びに相当悩みました。

当時は「カーボネックス・7」というヤツが先端でして、何しろ高価な物ですから買いあぐねていたら、「8」という、より軽くカラフルな新型が登場したので、飛びつくようにそちらを買ってしまったのです。

しかし「8」を使っている内に「7」の……その茶色く鈍い光沢を放つボディがたまらなく

濃く見えてきて、しまいには「旧型で新型持ちを試合で破ることこそ格好良い」とまで思うに至り、自らの買い物の選択に後悔の日々を過ごしたものでした。

その後「8」は練習中に折れてしまったのですが、次のラケットに何を買ったかは言うに及びません。私の「わび」へのめざめでした。

山田芳裕



Orie Furuta

Toyotomino



Senno Rikyu

Hideyoshi



Ieyasu Tokugawa

Masamune Date





へうげ十作  
「今焼」応募券

へうげ十作

モーニングKC1774  
372774-6



# Hyouge Mono

YOSHIHIRO YAMADA

Yoshihiro Yamada  
Sanno Rikyo Iyosai Tokugawa  
Mezomane Daito

8

第8巻

山田芳裕

講談社

# 万事急須。

第3回へうげ十作「今焼」プレゼント実施中!!  
青田買い激奨・若手陶芸家ユニットが魂を注ぐ  
ワン&オナーの「急須」を抽選で10名様に贈呈!!

山田芳裕「へうげもの」第8巻表紙についている応募券をハガキに貼り、郵便番号、住所、氏名、年齢、職業、電話番号、希望する今焼商品の陶芸家名、今焼および「へうげもの」の感想を明記の上、〒112-8001 講談社モーニング編集部「へうげもの 第8巻 今焼贈呈係」まで郵送してください。締め切りは2009年4月30日(木)当日消印有効です。当選者発表は発送をもってかえさせていただきます。詳細は、作家略歴等、プレゼントの詳細はモーニングHP<e-1day><http://www.e-1day.jp/>トビノクもニュースをご覧ください。

ケータイで「モーニング」  
のマンガを読もう!!

全作品  
試し読みOK!

講談社  
KC+ コミックプラス

<http://kcmp.jp>

コミックプラス 検索



1774

HYOUGE MONO SINCE 2005  
MORNING KCMORNING  
KC  
1774

Oribe Furuta  
Toyotomino Hideyoshi  
Senno Rikyu  
Ieyasu Tokugawa  
Masamune Date

へうげもの

TEA FOR UNIVERSE, TEA FOR LIFE.

KODANSHA

Hyouge Mono



8 山田芳裕  
YOSHIHIRO YAMADA

Oribe Furuta ist ein Kriegsheerführer der Ära Sengoku, dessen Seele zwischen seiner Liebe zum Weg des Tees und seiner Sucht nach Materialien zerrissen ist.

Mit seiner gradiose Weltanschauung, die sich unter dem Einfluss des genialen Generals Nobunaga verbreitete, und seiner Geistigkeit, die dank der Lehre des Meisters Senno Rikyu zur Zereemonie des Tees vertieft wurde, verfolgt er seinen ungebremsten Lauf auf den Weg zum <<Hyougemono>>.

Eine Meinungsverschiedenheit vom Sinn des Schönen zwingt Rikyu zur Attentatsplan an Hideyoshi. Ohne Masamune Date zu beachten, versucht Oribe seine Überlegenheit durch den Imayaki zu festigen.

Zwischen Leben und Tod, dem Weg des Säbels und des Tees, wird die Entscheidung immer zwingender!!

TEA FOR UNIVERSE, TEA FOR LIFE.

# Hyouge Mono

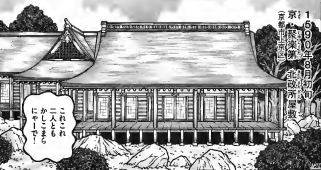
8  
KODANSHA

1672

HYOUMONO SINCE 2001  
MORNING KC



1590年8月初旬  
京に聚楽殿  
北政所屋敷  
(京都市京区)





ほんに似合いの  
つがいだがね！

第七十六席  
Smells Like

童 Spirit





私に  
係りますな  
古崎様



寺様……

宗匠は上田殿も  
連れておるので  
あるうか……



ザッ

ザッ



しかし  
さなか……

まさか宗匠が  
「本願寺」の首領者  
だとは……



不思議と懐みは  
湧いてこぬ……

関白様自ら  
信長公戦しを  
明かされた時の  
如く……

畏敬の念を極く  
のみ……



いや……  
違う……

畏敬などと  
生易しきもの  
ではない……



やはり……

やはり敬奇の  
道も同じなの  
か……

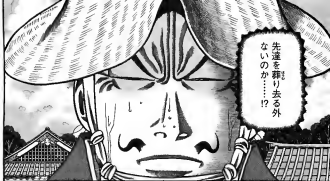
天下を獲らんと  
するは……



怖いのだ  
……

千利休という  
仁が……

石ころを蹴散らす  
如く邪魔なものを排す  
その業が恐ろしくて  
近づけぬのだ!!



先達を葬り去る外  
ないのか……!?



ザッ



彼は必ず  
そちらの道を  
通ってみせる

今はまだ  
わからぬが



ある……



きこえ  
ある……

左横な道を通らず  
とも 数寄の王座  
に座る者が……



これはこれ  
は正格な  
瀬戸正格

「瀬戸」中も「瀬戸」の  
敷居にさらされ  
冷や汗が出ました

普通より例の  
物が置いてある  
ような

「瀬戸」通りの  
路が狭い……

お目利きの  
程を



出向かれずとも  
こちらから  
伺いましたのに

店構えを  
見とうてな

中々に渋う  
進ったではないか  
新兵器



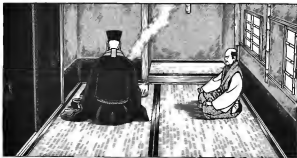








同年8月中旬  
聚楽第より利休屋敷









さすがは西國  
白二十万石を束ねる  
毛利様……

北条が倒れた今  
そこまで驚愕のある  
大名は、そうはあり  
ませぬ



関白様も  
御老齢……

もしものことが  
あらば……

天下を背負うて  
立つは、毛利様やも  
知れませぬな



うん……

この煎茶碗も  
良い……

私も高麗井戸  
茶碗を持って  
おるが……



この今焼窯は  
それに勝るとも  
劣らず わびて  
おりますな……

毛利様は  
わびた華やかさ  
よりも……

わびた風情が  
お好みで……

はい



満潮を迎えた  
厳島神社より……



潮が引き  
波の跡とともに佇む  
大鳥居の方に  
惹かれまする

その煙の中で  
暮らせる世を望んで  
みて下さい







私も老い先短う  
ございます





いつとは  
申せませぬが  
その刻がきたら

私めの要請に  
お応え頂けます  
でしょうか







異状ござい  
ませぬ  
殿下

第七十七席  
愛しき  
反逆者







諸大名方は  
大陸進出にて  
莫大な出費を  
なされます……

なれば私ども  
喪えし地の者は  
この機に乗じ  
恩を売り……

取引を盛んに  
する外  
生き残る術はない  
のでございます



今度の  
参入りは……

全国の開拓が  
力を削ぐも  
目的の一つ！  
……



ならぬ



よいか  
判体……



足らぬ資金を  
援するなど  
もつての外！

今後お前が  
茶事以外に  
係わるを禁ずる  
！







利休殿の不意な  
動きも封じられ  
ますな殿下……

お時を人質に  
すれば……



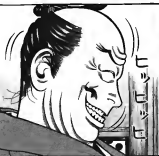
それだけ  
ではない

余にはもう  
刻がないのだ

鶴松以上の  
丈夫な世継ぎを  
つくる刻がな

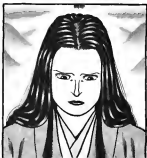


















左様な事は  
断じてできぬ



真のわびを  
買かんとした  
宗二の無念を  
想えば……

この身と引き換えに  
してでも 負けては  
ならぬのだ



わかりました  
お父様



茶登が代わりに  
私が関白様の御側へ  
参ります



















第七十八席  
黒と緑の  
ワタシ







されど  
宗匠……

それがしの面は  
見とうなくとも  
……



心得申した……

宗匠が何をなさろうと  
してあるか  
わかりませぬが……

お時殿まで参うた  
關白様の近臣たる  
それがしと……  
縁を切りとうなるは  
わかり申す



この器はしかと  
見て下され！

我が渾身の  
染付志野茶碗  
だけは……！！



ついに……  
きたかと……

お心に感じ入り  
ました



先人たちが見出した  
高麗井戸茶碗を筆頭  
とするわびの価値を



私が無駄を辨し  
置くことで  
至高のものにしたと  
自負しております……



そして今  
あなたが……

辨したはずの無駄……  
即ち「白情」と「拙」を  
含む焼付けを……



不完全な筆致にて  
器肌になじませ  
新たな風情を生み  
出したのです

されど

あなたの全てが  
この種に乗り移って  
いるとは思えませぬ





それが  
わからずば  
……



人々の心を  
打つことはない  
でしょう……

剃染する意味  
などなく……



あなたは世に何を  
広めたいのですか？

剃ったものにて  
何をなさろうとして  
おりますか？



己を見つめ  
直しなされ

見つめて……  
削いで……  
最後に残った  
ものこそ……

古縁<sup>ふる縁</sup>好みとして  
真のわび・数奇<sup>かずき</sup>が扉を  
開きましよう







中身が無かった  
のだ……



同年10月下旬  
陸奥国・下草城  
(宮城県大町)



一応は「獲物」の  
意を示しておる  
ものかと

伊達軍は先に入城  
しております  
薄生様……















糞<sup>クシ</sup>苦<sup>に</sup>げえ  
あああ!!!



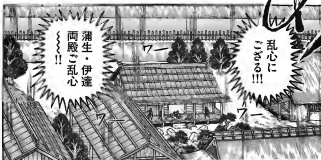
ざまあ  
みやがれ!!!

死ねエ  
蒲生!!

茶で  
死ねエ!!!







浦生・伊達  
両殿の乱心  
!!

7



江戸村の戦地が終わ  
りました 古田様



なかに  
石田殿はまだ  
奥羽におるのだ



奥羽直轄地になりは  
すれども……

我らに税が  
入らぬは  
痛いすな



京で売る機も  
観々できており  
ますな



向こうは何やら  
儲めておるゆえ  
すぐは戻らぬ

奥羽に渡す分の  
一割はちよろまか  
せるわ



これらが見事  
売れば……

購入りの費用も  
賄えるのだがう  
……



この器の評価は  
「甲」ではなへ

「乙」でいった  
んが……



こや……

俺自身がいまだ「乙」  
なのだ……



一体……

一体「俺」とは  
何なのだ……

終

1590年11月初旬  
京・聚楽第(東京都上野区)



はるばる朝鮮より  
「苦勞」にござい  
ました 黄陵



茶の用意はある  
ようですが……

朝鮮の用意がない  
のはいかなること  
ですか……?



● 主人・客、共に茶を飲み交すこと



陛下が御見えに  
なります

カラ

いや~~~~  
よう来た  
よう来たっ

待って  
おったぞ~~~~  
のう鶴松っ

第七十九席

日輪の  
クライベイベー









そのような馬鹿げた  
要求を聞けるはずも  
ありません



我々は一切聞き  
及んでおりません



もし……

もしもそれが  
貴殿殿の本意で  
あっても……



何だと!?





この国では貴人にも  
粗末な器を出しな  
さるか……？



す……少し  
落ち着きなさい

茶をお飲み  
下さりませ



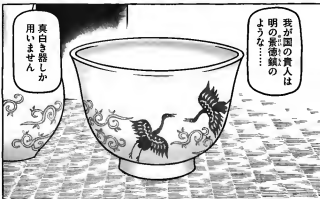
高麗・井戸・茶碗に  
ございます



我々からの土産  
があります



あ



我が国の貴人は  
明の景徳鎮の  
ような……

真白き器しか  
用いません



「拝啓閣下の節も  
行わず……」

「御無人な要求を  
突きつけられ……」

「はるばる朝鮮より  
渡来して あきれ  
果てるばかりです」



「皇臣殿は低い身分  
より成り上がられ  
たとのこと……」

「王を名乗る前に  
まず礼節を学んだ方が  
よろしいかと」





殿下は朝鮮をも  
攻める決意を  
固めたようです  
秀長様……



書牒にかかっておる  
足利は本願寺の城を……

より強大に遠れ  
との命が下つて  
おられます……



ま……

ゴホッ

殿のせいか兄上は  
事を急いでおる……



なに……!?



ハッ



今度の件といい  
……第二の件と  
いい……

もと過ぎたる事が  
目立つようになつて  
参りました……



宗二が処刑  
されたと……!!?

いつだ  
……!!?

いつの事だ  
……!!?



も……申し訳  
ありませんね!

秀雄様のお身体に  
障らぬようにと  
固く口止めされて  
おったゆえ……

小田原の陣中に  
捕えられ  
首を刎ねられたと  
聞きました!



す……数奇の力  
なくして、貴族は  
天下を束ねられぬ  
……

……このまま  
では、信長公の  
二の舞に……



秀長様  
—  
!!



秀長様っ



如何です  
利休居士

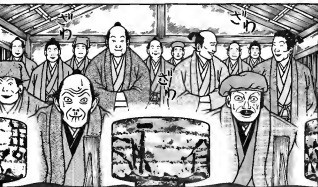
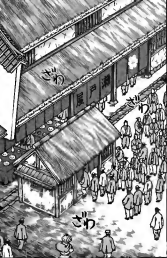
一休禪師の木像に  
勝るとも劣らぬ  
出来映えでしょう







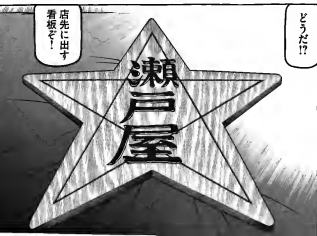
















1591年1月初旬  
武蔵国・江戸(東京都千代田区)



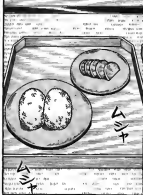


いやしかし  
疲れたのう

ちかれた  
びく

第八十席

正・政・性





いすれにしろ  
伊達を上落らせ  
関白様を倒さなければ  
なげなるまい

しばらくはまた  
身体の鈍る  
京助めよ



伊達への書状は  
用意できており  
ます

それで騒ぎが  
収まればよいの  
ですが



先ほど 麻布村は  
土家の女房が殿に  
御目通りを……



申し上げ  
ます！



左様な事で殿を  
煩わせるな！

そ……そう申し  
渡したのですが……

一向に耳を貸さず  
殿に直訴できれば  
死ぬとまで……





もう頼みの綱は  
徳川様しかいねえ  
べ!!



お願いします  
徳川様……



床を敷け

よし心得た





茶会の話いか

また一刻も  
京勤めが長くなる  
ようだ……



殿っ

京の利・休・様より  
便りが



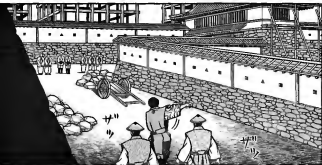
早く見たい  
ものよ

この江戸が  
健やかなる正義の  
都となる様を









© 明治館文庫



良い虎口  
に  
出来上がったね

ちよっちゆね



虎口はそれだけ  
じやだめね

やっぱり門で  
敵を脅さないと



ご指示どおり  
折り曲げた通路を  
広う取りました

広範囲に横矢を放て  
敵をしとめ悪うなり  
まする



虎もね

眼前の敵に牙を  
むき出して威嚇  
すると申してね

城の顔たる虎口の  
門も 恐ろしいほど  
美しう造らないと



城はね

虎そのもの  
でね



これ  
用の美ね

利休居士も  
申してたよ

また一つ  
学べました



















1591年1月下旬

大和国・郡山城（奈良県大和郡山本町）



長官はご遠慮  
下さりませ  
黒田平兵衛様



香具様の重宝は  
戻されたものの  
……

相次ぐ見舞いにて  
お慶びにござい  
ますれば

ほれ



カラ



私は銀を売って  
おったこともある

これを贈じて  
飲ませれば  
よう効くぞ



どうか  
そのまま  
秀長様

狭霧のみで  
退散しますゆえ

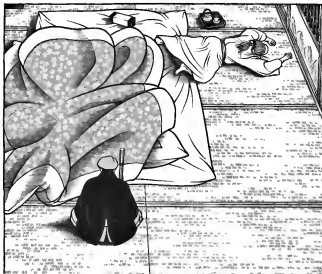
第八十一席  
新・ギルティ  
パートナー













だがそれゆえに  
海の一帯が即刻に  
過ぎたよう……



さすがは天下の  
調整役……

利休居士の動きを  
察しただけで  
謀を察するとは……



我らを謀り 危ない  
機を渡らせてまで  
羽柴のみで天下を  
牛耳らんとしたことを



これも悔いぞ  
秀長殿……

全て利休居士より  
聞いておる……

あの高松城攻め  
では……









「客を苦しめるに似たり」……ではないのか？



二重敷はどうだ有楽斎よ……

お前の裏が聞きたうて……での茶会を望んだのだ



せ……

僧侶ながら……

左様に喝する次第……



茶頭兼頭に置いてもおかしくない力をな



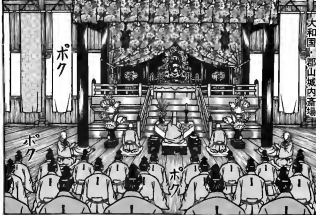
稀代の数寄者僧長公の跡にして伽に専念せし者の言葉……

世に鋭く力を持っておるとは想わぬか利休……？















同年・閏11月中旬  
尾張国清洲・愛知縣清洲市



男長にも  
放蕩を謝しませ  
たかったわ



奥州の件は  
御心配なく

それがしが  
取りなしました  
ゆえ



さすがは  
関白様

塵を放つ機に  
いささかの養えも  
感じませなんだ

この家康  
感服致しました





ただ……

いえ……



納得するの  
かと……

その人事で  
利休殿や皆が  
……



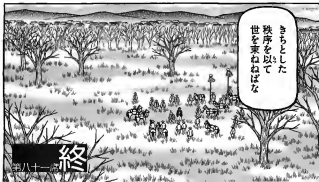
不服か？

ピ  
ー  
ッ



利休の処遇も  
三成に任す

この先広うなる  
天下を わび数奇  
ばかりに頼って  
おれぬわ……



きちとした  
秩序を以て  
世を束ねねばな

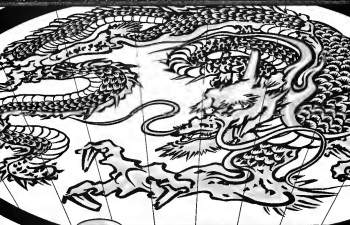
終

第八十一話



1591年閏1月下旬  
京・大徳寺三門  
（京都府北）





席的二  
刑台  
第八十  
死階  
梯





古の將軍様でも  
あきれなかった  
三門の修徳を……

利休居士が  
果たして下さった  
のです

ここに置いて  
何がいけないの  
です……



一考せをんだか  
古満殿……

三門の下を  
關白様や公家衆  
……帝までが  
通られることを



所詮商人に過ぎぬ  
利休が像の裸足の  
下を



秀長様亡き後  
……

天下の秩序は  
この私に一任  
されておる







もし漏れて  
おれば……

それは  
ありませぬ

私域<sup>しやく</sup>内<sup>うち</sup>に  
宗二<sup>そうじ</sup>の如き処分を  
受けましょう



左様<sup>さよう</sup>なまでに  
我<sup>われ</sup>らを抛<sup>な</sup>うという  
ことば……

まさか例<sup>れい</sup>の謀<sup>はかり</sup>が  
いづこからか漏<sup>も</sup>れ  
ておるのでは……



豊臣<sup>とよとみ</sup>が是許<sup>このところ</sup>が  
強<sup>つよ</sup>らいでおります  
……

帝<sup>みかど</sup>が不幸<sup>ふこう</sup>か  
秀長<sup>ひでなが</sup>様が亡<sup>な</sup>く  
なられ……

あとは関白<sup>かんぱく</sup>様さえ  
何とかすれば……



こ……こうなれば  
早<sup>はや</sup>うに……

豊臣<sup>とよとみ</sup>が皇<sup>み</sup>の権<sup>けん</sup>を  
止めねばなりませぬ  
な……

最後の一手に  
ついては……

既にお時  
に  
戻めかして  
おります

関白様  
に  
贈りし物にて



お吟殿が歿す  
となれば……

お吟殿の  
命も……

それよりも

関白様亡き後  
天下の座に勝る花を  
先に決めねば  
なりません

全国の諸将を  
茶に招いており  
ますが……

やはり密  
輸入には神威の  
ご様子……

こちらの意に  
添わんとする方々が  
多うございます





毛判様が良い  
かと

まだお若く  
力もあります

私どもも伍し易く  
陣将に配みも移さ  
ますゆえ

不満で  
……



あのお方の  
私を見る  
眼差しが……

かつての関白様を  
想い起こさせるの  
です



きりとして他のお方  
となると……



されば天下人と  
なられた際には

ふたたび現状を  
繰り返さぬかと

数日後に  
徳川様を茶に  
招きます

一切を晒し  
私どもの未来を  
託してみたく



ち……力は  
あれども……

数奇を解さぬ  
お方ですぞ！

左様……

わび数奇を平高  
とする我らと  
異なり……



なればこそ  
現状の如きには  
至らぬ……かと



眞実のために  
数奇など蒙らぬ  
とするが徳川様……

我らとは水と油  
ではありませぬか  
……

徳川様が同調  
なさらねば

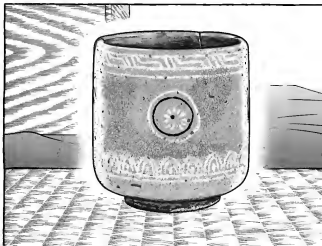


腹も漏れかね  
ませぬぞ……



必ずや實は  
私一人に止め  
まする

この利休  
一世一代の賭け  
にございます





石田殿の頭なさは  
宗匠を認めんと  
しておるとしか  
思えぬ……

関白様は清洲に  
おられるゆえ  
直談判もかなわず  
……

宗匠にもなぜか  
近頃は会えぬこと  
が多い……

やはり  
宗匠殿も……

宗匠に  
避けられて  
あるか……

それがしも何か  
せねばのう……

それにしても  
宗匠がどのような籍を  
持っておるとは……

来てもろうたは  
そのことに……なる  
古縁殿

最近手に入れた物  
らしいが……

宗匠の好みとは  
かけ離れては  
おらなんだか  
……？



狂言師……



「狂言師」という  
別称も、いささか  
ふざけておるよう  
で……

一体何を想うて  
贈られたのか  
……

驚くなら  
今焼屋の方が  
はるかに嬉しいやう  
ござった……



いや

実に良い茶碗  
ぞ 忠興殿

きつと左様な  
想いで贈られた  
のでござろう

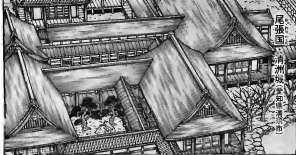


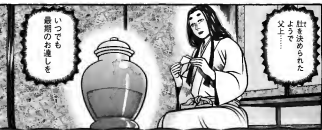
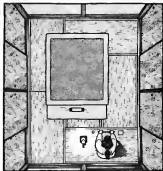
※ 高麗茶碗の一種。

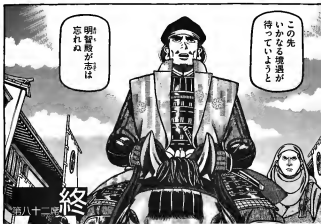
















第八十三席  
本命は  
**お前だ**



なんと面白い  
串刺しに  
味噌焼酎……



江戸では中々  
食えぬ物を……

暫に過ぎぬ  
程に出して  
きある……

用意せしが如く  
出された遣者と  
いい……



心の隙をついて  
くる……

これが東京の……  
いや、手利使が  
魔刀……

用心せねばな



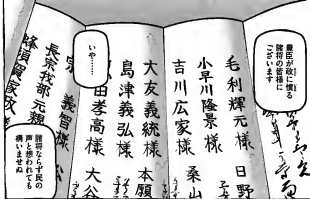
世に正画を示し  
豊平を繋げる懸置  
のあるお方は……

徳川様をおいて  
外になし……と

それがしの  
力なぞ  
まだまだ……

















實現せねば

ただの画に  
描いた敵……



御免！



今こそ……



今こそ  
天下の瞻者から  
為政者にお成り  
くださいませ



素することと  
行うことは違う  
のです 徳川様

己が手を  
汚さずして  
理想を実現すること  
などできません















なんと

何々明番様  
が……

下の匂を辨す  
までに わびを  
極めておられた  
とは……

さすれば  
私は……

愚かにも

眞のわびの牙を  
滴んでいたのだ  
……

私は関白様が  
宗二にしたことと  
……

同じことを  
……

==











第八十四席  
さ、最高!  
セクシー!



俺ア  
嬉しいのさア  
関白様よオ

弟御が死んで  
落ち込んでると  
愚ア

朝飯をそんだけ  
食らう元気が  
あつてくれてよオ



なんだ  
その面は？



ひきつって  
おるわ 政宗

田舎芝居も  
たいがいにせい

まあよい

奥州での件は  
徳川より事細かに  
聞いておるが……

京まで爾を  
下げに来たは  
許儀である



だが

余は先に京へ参り 吟味する

既に上落せし 養生が 件に 関する書状を 見せたいらしい



その膳 よくよく 味わうておけ

もしお前が真に 一揆を煽動して おったなら……

二度とは食えぬ 馳走ゆえ……な



話が違うぜエ  
片倉ア……

間白ア  
俺を始末する気  
満々じゃア  
ねえか……



いっそ手勢一千で  
京をブン奪っちゃう  
かア!?

自暴自棄は  
なりませぬ!



前田様には文で  
伺うた所では  
……

頭を下げに来る  
だけで、敵免罪状  
とのことでしたが  
……

潰生を  
怒らせるから  
こうなものです



あ……

小田原の刻  
が如く……



この先彌次せん  
大津にて……

前田の使者  
高山殿が必ずや  
良策を授けて  
くれるはず……

同年2月28日  
近江国・大津  
石山寺

願止まで  
果てくれるたア  
ありがてエ

陸奥の  
砂金だア

礼はたつぷり  
させてもらう  
ザユ

だからよオ  
ご両人！

頂へ昇らん  
この独眼竜  
をを！

カリ

タ

キ



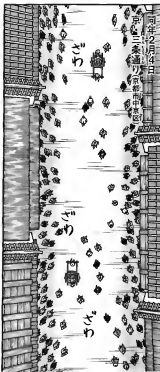




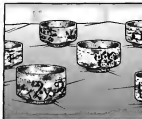


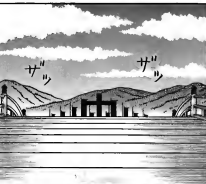








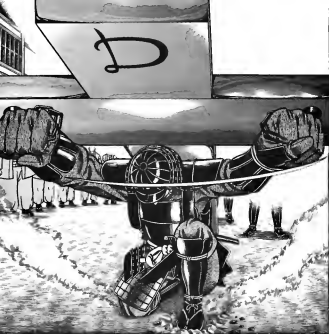


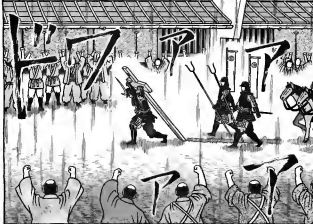


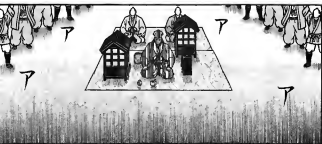














第八十五席  
**抱いてエ!**  
HOLD ON ME!!



な  
に  
イ

カ



関白様が名代たる  
藩生飛騨守と  
諍いを起こし

奥州が一揆まで  
煽動せんとは  
不屈千万!!



殿っ

談合でもり  
に……………

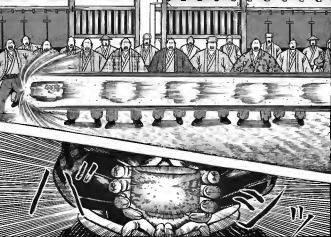


されど  
藩とし前をつげん  
と上洛し……………

自ら砲台を担ぎ  
行進せんとは  
天晴れ……

よってこの  
吉田藩修正  
……………























宗匠……!!



これは  
奇みい……



だ……伊達一行に  
随伴しておられた  
とは……



夕刻には宗匠を  
我が屋敷へ招き  
……

三門の奥を覗うせん  
重宝で明かすつもり  
であったが……

はしたなき  
伊達どのやりとりを  
見られてしまったか  
!?







早速っ!!

早速茶の湯を  
教えてくれエ  
!!

天下に轟く  
「わび」って  
ヤツをよオ!!



家臣を早々  
ここへ向かわせ  
造らせたのさア!

もう茶室も  
出来上がって  
らアな!

命のある内ア  
幾らでも茶を  
点てられる  
ぜエ!!





なかに 関白様は  
風流を解さぬ御方  
ではない

この盛り上がりを知れば 逆に  
御事びあそばし  
ましょう



伊達様が  
救済された嘆  
には……

ぜひとも  
私どもの店を  
ご暴露に



では「伊達様」を  
掛けねばなりません  
ねなあ

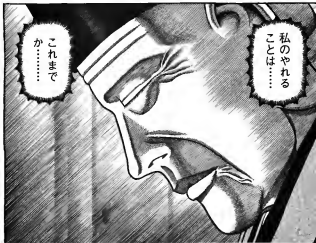
しばらくは  
わび敷きを  
忘れて……



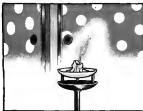
あ……  
利休様の前で  
……これは失礼



ハ  
ハ  
ハ







1591年2月5日  
京・天徳寺(京都市北区)







決して渡さぬ  
よう お願い  
申し上げます

第八十六席  
「世界」を  
割った男

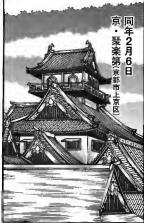








同年2月6日  
京・聚楽第(京都市上京区)









行状を調べ上げたところ……

三門の件以外に  
売僧の疑いも浮か  
んで参りました

これは高僧たる  
権威を利用した  
世の秩序を乱す  
暴行にて



いかにする  
……

民や僧侶の支持を  
無視しても……か  
？

市中を歩き  
尋ねたところ  
……

以前ほど  
わび敷き  
に  
敬慕はござい  
ませぬ

山上宗二と  
等しく  
斬首が  
妥当かと



未だ茶頭整頓  
に留め……

何故ためられ  
ます……？





同年2月9日  
京・細川中興屋敷を襲撃する松平



ならば素匠は  
京を逃散と……  
!?



それとなく  
蘭田様に伺うた  
とさる……

三門の貴の  
落し所は  
そのあたりに  
なろうか……と



大政所様や  
北政所様も  
この件に気付かれ  
……

蘭田様に素匠の  
減刑を求めて  
おるとのこと



いや……  
正直ホツと  
し申した

やはり蘭田様は  
血も涙もなき御方  
ではなかった

私も胸をなで  
下りました

少しは  
「伊達祭り」が  
効きましたかな?

ははは

追放だけでも  
厚すぎる！

石田め……

落ち着きなされ  
忠告殿

刻が経てば  
宗匠は戻って  
こられよう

己が権勢欲しさに  
宗匠を遠けおった  
な………

左様

同じ追放を受けた  
私とて、こうして  
おられるのですから

いや！

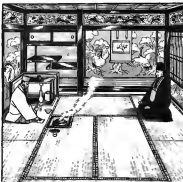
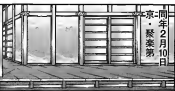
それがしのみ  
ならず、他の  
数寄大名とて  
黙っておらぬ！

考えても  
みなされ！

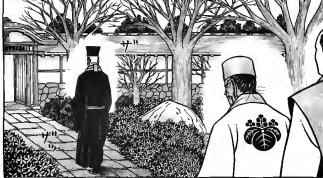
宗匠を排除  
せんとするは

師と仰ぐ我ら  
をも排しかねぬ  
ということ！！

これは天下を  
揺るがす  
一大事ぞ！！









あれは

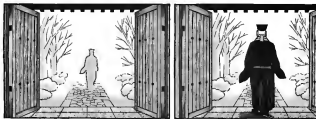
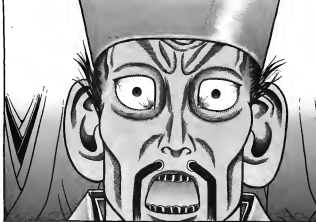
檜柴

.....  
!!!









「へうげもの」第8巻は、モーニング 08年30号、32号、34号、36・37合併号、39号、41号、43号、45号、47号、49号、51号に掲載された作品を収録したものです。編集部では、この作品に対する皆様のご意見・ご感想をお待ちしております。

東京都文京区音羽二丁目十二番二十一号  
郵便番号一一二八〇〇二  
講談社「モーニング」編集部  
モーニングKC係

※この漫画はフィクションにて、実在の人物、団体等と無関係にて。

N.D.C. 720 230 190

777-CK-1177

へうげもの 8

二〇〇九年三月十三日

(定価はカバーに表示してあります)

著者  
山田  
田中  
芳村  
新井

五  
十  
五  
五  
五

株式会社調設計



東京國文學部圖書部三十二・三十三  
紀伊館書号 二二一八〇〇一  
電話 編輯部 東京〇三三三九四五・九一五五  
販売部 東京〇三三三九五一・三三六〇八

印刷所 大日本印刷株式会社

和歌山株式会社

本支店の業務は、主に、  
① 貸付金回収  
② 貸付金管理  
③ 貸付金回収

©Yoshihiro Yamada 2008

「本書の副題は『ゴビノ』とあるが、上での断片を採る、故に名付けています。第一巻・第二巻は種々通覧名を明記のうえ、お礼巻裏紙裏にお送りください。通覧小冊資料にてお取り願いました。『通覧』は『通覧』、『通覧』、なれど、この本についてのお問い合わせは『ゴビノ』編集局にお願ひいたします。

# 「数奇のためなら、娘も泣かす」 橋立茶壺

橋立茶壺

秀吉が戦勝に飲した利休の愛器。日本三財の一・天橋立から命名されたという「言語を絶する名品なり」(山上宗二評)。娘は売ってもこの茶壺だけは断じて譲らず、利休自刃の一因ともなる。嗚呼、



HYOUGE  
MONO  
SPECIAL  
COLUMN



# HASHIDATE

## 「我が数奇に触発されたり!？」

# 引木鞘

引木鞘

別称・狂言袴。利休最晩年、高弟・細川忠興に贈った高麗筒茶筒。織部曰く、利休好みとはかけ離れた「ゴツゴツした造りならざる染付」こそ、自分が目指す「へうげ」に利休が傾いた証拠也。と、真相は無定数かではない。



# HIKI GINO SAYA

好評・利休、織部が愛した逸品豆事典。これでキミも数奇MONOだ!?

# へ印良品。

# SHINO



「数奇の天下はいたadaki!」  
**染付志野茶碗**

銀座会心の「ORIGINAL」茶碗、美  
 濃の異がやの「ニヤロン」とした筆  
 致に、大金時殿大模写、オシリ一  
 でナンバー碗、のちにエ・クロの大ブ  
 ームを巻き起こす記念碑的試作品。

利休自刃まで、残り17日。

TEA FOR UNIVERSE TEA FOR LIFE  
**Hyouge Mono** 第**9** 服

’09年夏、熱波発売予定にござる!!

TEA FOR UNIVERSE, TEA FOR LIFE.

# Hyouge Mono

8  
KODANSHA

Say Say Say / Paul McCartney & Michael Jackson 1989

Ascenseur Pour l'Echafaud

SCARECROW

REBEL REBEL

PINK FLOYD 1967

David Bowie 1974

Q & A Baby

Janis Joplin 1971

抱いて HOLD ON ME!

The Man Who Sold the World

Sir Psycho Sexy

RED HOT CHILI PEPPERS 1991

Elvis Presley 1960

David Bowie 1970

【モーニング】  
http://www.morning.jp/

1774

HYOUMONO SINCE 2005  
MORNING KC

Oribe Furuta  
 Toyotomino Hideyoshi  
 Senno Rikyu  
 Ieyasu Tokugawa  
 Masamune Date



TEA FOR UNIVERSE. TEA FOR LIFE.

KODANSHA

# Hyouge Mono

Oribe Furuta ist ein Kriegschef der Ära Sengoku, dessen Leben des Tees und seiner Sucht nach Materialien zerrissen ist. Mit seiner gradiose Weltanschauung, die sich unter der General Nobunaga verbreitete, und seiner Geistigkeit, die zur Zeremonie des Tees vertieft wurde, verfolgt er seinen Lauf auf den Weg zum <<Hyougemono>>.

Eine Meinungsverschiedenheit vom Sinn des Schönen zu. Ohne Masamune Date zu beachten, versucht Oribe seine durch den Imayaki zu festigen.

Zwischen Leben und Tod, dem Weg des Säbels und des wird die Entscheidung immer zwingender!!